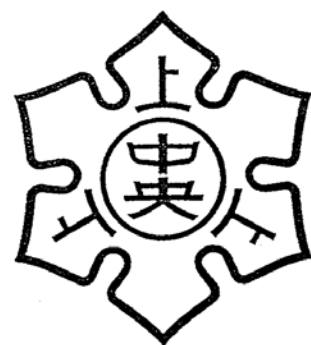


平成25年度

上砂川町立中央小学校



校章

平成3年 制定

子どもの群れに幸がある

【上砂川町立中央小学校 校歌】

作詞 風巻景次郎

作曲 筒井 秀武

一、明るい朝の歌がある

子どものむれに幸がある

心ゆたかに育つよう

みんなで力つけあおう

つどえよここに朝ごとに

上砂川の子どもらよ

二、明るい町の歌がある

子どものむれに幸がある

正しいことのできるよう

勇気をみなでつけあおう

緑の丘にかこまれて

ひびきはあがるやまの町

三、明るい夢の歌がある

子どものむれに幸がある

かしこい人に育つよう

みんなで知恵をつけあおう

鶉の里に年をへて

わが学舎に栄えあれ

◎所在地 北海道空知郡上砂川町東鶉南1条4丁目1-1

◎TEL 0125-62-2050

◎FAX 0125-62-2314

中央小学校の概要

本町の東部には夕張山系が東西に走り、西方の砂川方面に傾斜して石狩平野へと続いている。この山間に流れるパンケウタシナイ川の大きな沢に町が形成されている。産炭地として隆盛を誇っていたが、昭和62年7月14日、石炭の合理化政策のために三井鉱業所が閉山となり、町及び町民を挙げての長期町づくり計画のもとで「教育と福祉の町」へと再生の道を歩んでいるのが実情である。

本校は、平成3年に若生小と下鶉小の統合により新設され、平成6年に上砂川小と統合して小学校は町内一校体制となっている。保護者の職業は、かつて鉱業所の関係と商店が中心であったが、現在は、公務員、自営業、企業誘致に伴う会社員等、僅かの変化をしている。閉山になって20数年経過しているが、近年の社会経済の落ち込みの影響もあり、子どもの成育環境に不十分な面が多く見られ、生徒指導に多くの力を注がなければならないこともある。

子どもたちは、概ね素直で明るく活発な傾向にあり、学校行事では、高学年がリーダーシップを発揮し、全校で協力しながら成功させている。

一昨年度より、特別支援学級支援員が配置されている。一昨年度、開校20周年を迎えた。

中央小学校の沿革

明治 35 年	空知郡奈井江村鶉農場簡易教育所開校	平成 3 年	上砂川町立中央小学校開校 中央小学校落成記念式を挙行
明治 42 年	砂川尋常小学校に併合、砂川尋常高等小学校鶉分教場と改称	平成 4 年	第 1 回中央小学校卒業式
大正 6 年	砂川尋常高等小学校より分立し、鶉尋常小学校開校 鶉尋常小学校特別教授所分立(上砂川小学校の前身)	平成 5 年	校名を変えず、上砂川小学校と中央小学校の統合が決定
大正 15 年	校舎新築移転(鶉神社横から現在地)	平成 6 年	中央小学校と上砂川小学校が統合、統合式を挙行
昭和 10 年	鶉尋常小学校を上砂川鶉尋常小学校と改称	平成 13 年	コンピュータ設置(20台) 10周年記念式典・祝賀会を挙行
昭和 13 年	高等科を併置し、上砂川鶉尋常高等小学校と改称	平成 15 年	法務局より「人権の花」寄贈 学芸発表会を学習発表会と改称
昭和 16 年	砂川町・歌志内町組合立上砂川第二国民学校と改称	平成 16 年	普通学級 1 減により、普通学級 6、障害児学級 2 となる。 韓国児童受け入れ(4名、L C 日韓児童交流事業)
昭和 22 年	上砂川第二小学校と改称	平成 22 年	児童用・公務用パソコン設置 体育館耐震工事完了
昭和 24 年	上砂川町立上砂川第二小学校と改称	平成 23 年	開校 20 周年式典・祝賀会挙行
昭和 26 年	称	平成 24 年	算数セミナー実践校、授業研開催 福井県鶉地区との交流事業開始
昭和 32 年	下鶉分校開設		電子黒板寄贈・導入
昭和 34 年	上砂川町立若生小学校と改称		光回線敷設
平成元年	児童数最多(36学級1926名) 若生小学校と下鶉小学校の統合決定	平成 25 年	ホームページの開設・公開
平成 3 年	若生小学校開校 89 周年記念式典・祝賀会を挙行		

中央小学校の教育

学校教育目標

○思いやりのある子（情）	～	【 校訓 】 優しく
○正しいことをやりぬく子（意）	～	正しく
○自ら進んで学ぶ子（知）	～	賢く
○健康でたくましい子（体）	～	強く

学校像

学校とは、人との関わり合いの中で、子どもを自立させる場、心を成長させる場として、「生きる力」を身につけさせる責任があり、子どもたちの発達をたすける営みに全力を傾注する場である。

【 子どもにとって 】 → 「 明るく元気で楽しい学校に 」

- ① 学ぶ喜びが感じられる学校
- ② 安心して通学できる学校
- ③ 「生きる力」が育まれる学校
- ④ 子ども一人ひとりが輝く学校

【 家庭・地域社会にとって 】 → 「 学ばせたくなる学校に 」

- ① 地域の教育環境や人的資源を活用する学校
- ② 家庭や地域の負託に応える学校
- ③ 双方向に開かれ、「地域の風」が行きかう学校
- ④ 家庭や地域と成果や課題を共有する学校

【 教職員にとって 】 → 「 誇りを持って働くことができる学校に 」

- ① 組織的な研修で指導力が高まる学校
- ② 業務の分担で経営的資質を養い、解決への協働で参画意識の向上を図る学校
- ③ それぞれの持ち味が発揮できる活気に満ちた学校

児童像

児童は、上砂川の自然や地域文化を誇りとし、未来に挑戦する心を持ち、自分の良さや可能性を周囲との関わり合いの中で触発し、自らの生き方を追求する常に燃え続ける存在である。

教師像

教師は、公教育の推進者としての自覚を持ち、感動のある授業で、人としての基礎基本を着実に指導するため、相互に研鑽し合い、子ども・地域・保護者のため、さらには、己のために輝きを放ち、信頼の架け橋となる存在である。

学校経営の方針

I. 子どもの視点から

子どもにとって、楽しく学び成長し、豊かな自己実現を図ることのできる学校作りに努める。そのため、「生きる力」の育成や個性の伸長を重視した教育活動を推進する。

- 「できる」授業「わかる」授業に努め、学ぶ意欲の伸長を重視した教育活動を推進する。
- 基礎・基本の徹底を図る学習指導の充実
- 一人ひとりの興味・関心などを把握し、子ども主体の諸活動の推進
- 基本的生活習慣の定着
- 自主・自立の精神の涵養

II. 保護者・地域の視点から

保護者・地域にとって参加しやすく、信頼される学校作りに努める。そのため、家庭や地域（PTA）、関係機関との連携を図るなど開かれた学校作りをする。

- 学校の経営方針や重点の理解と啓発
- 保護者の声を聞くため、「保護者アンケート」の実施
- 「中央小だより」の発行と内容の充実
- PTA 活動の活発化

III. 教職員の視点から

教職員にとって、魅力があり、働きがいのある学校づくりに努める。そのため、一人ひとりの持ち味や経験を生かすと共にスムーズな情報交換に努め、チームワークのある組織体制を確立する。

- 地域に根ざした特色ある教育課程の編成・実施・評価
- 確かな学力の向上
- 指導力の向上や新しい教育の動向への理解
- 人間的なふれあいを基盤とした明るい教育環境づくり
- 問題解決を通しての経営参画意識の向上
- 危機管理意識の高揚と組織体としての共通行動の確立

学校経営の重点

I. 子どもたちの良さを伸ばす教育課程の編成・実施・検証・改善

(1) 教育課程全般

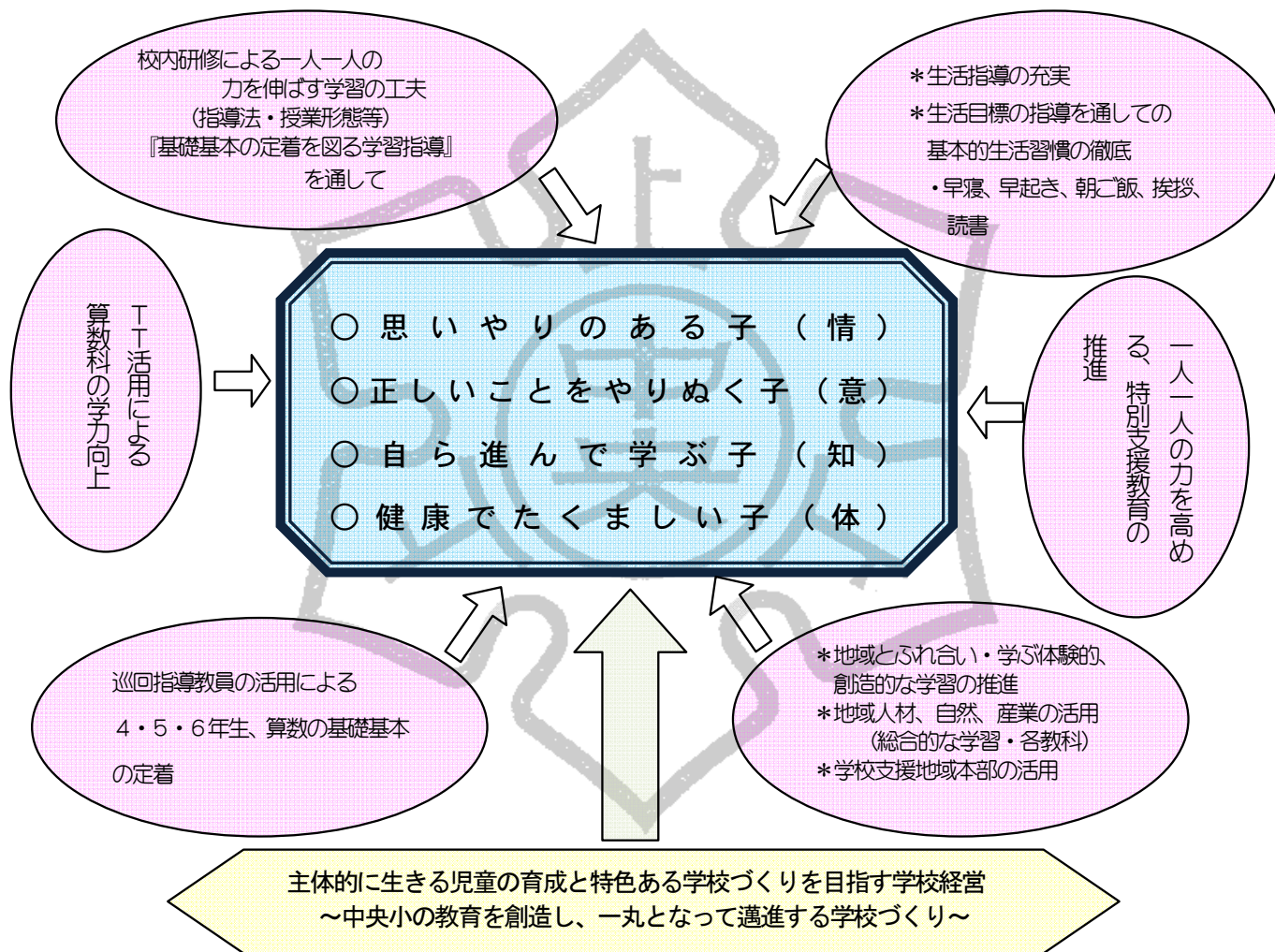
- ◎ 学習指導要領の内容について適正に取り扱う。
- ◎ 地域に根ざし、児童の発達段階に即した特色ある教育課程の編成と実践・検証・改善の推進
- ◎ 各教科・道徳・特別活動の三領域および「総合的な学習の時間」「外国語活動」の調和を図ったカリキュラムの実施
- ◎ 適切な時数の確保と適正な進度の保持
- ◎ 内容などで遺漏のないようにし、(保育所) 中学校との連携を図る。

- (2) 各教科 ～ 【 自ら学び自ら考える意欲と態度の育成する場 】
- ◎ 各教科の指導内容を十分把握するとともに、「自ら学び自ら考える意欲と態度」を育む指導の充実
 - ◎ 基礎・基本を繰り返し指導するなど、学習内容を確実に身につけ、「わかる」「できる」喜びを実感できる授業を構築する。
 - ◎ 多様な学習形態、学習方法を工夫し、意欲化に努める。
 - ◎ 目標達成状況がわかる適切な評価の工夫と実践
 - ◎ 学習の到達度を的確に把握し、指導の改善に生かす諸検査の実施
- (3) 道徳教育 ～ 【 豊かな心を育成する場 】
- ◎ 全教育活動を通して道徳性を養い、「豊かな心」を育む。
 - ◎ 豊かな心を育む道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画の充実
 - ◎ 豊かな経験を通しての道徳的思考力、判断力、実践力の育成
 - ◎ 道徳の時間の内容充実と工夫
 - ◎ 適切な資料の収集と活用
 - ◎ 家庭や地域との綿密な連携
- (4) 特別活動 ～ 【 集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育てる場 】
- ◎ 全体計画や年間指導計画の内容の充実変性
 - ◎ 主体的、意欲的な態度の育成
 - ◎ 地域社会との交流などの体験的な活動の場
 - ◎ 児童会活動を通しての自主的活動の育成
- (5) 総合的な学習 ～ 【 生きる力を身につける場 】
- ◎ 総合的な学習の全体計画の内容の充実
- (6) 生徒指導 ～ 【 自主・自律、自立の力を育成する場 】
- ◎ 基本的生活習慣の定着
 - ◎ 子どもに対する理解を深め、自己実現を促す指導の充実
 - ◎ 全教職員の共通理解・共通行動の体制の確立
 - ◎ 家庭や地域、関係機関との連携
- (7) 健康安全指導 ～ 【 自分自身の身を守り、健康な体を作る場 】
- ◎ 交通安全指導の徹底と安全意識の高揚を図る。
 - ◎ 日常生活における継続的な体育・健康活動の指導の焦点化
 - ◎ 体力作りの指導
 - ◎ 季節に応じた遊びの工夫
- II. 教師の専門性を高める研修の充実
- III. 学校・家庭・地域の連携を図った「開かれた学校」づくり
- IV. 危機管理と安全教育
- V. 教育環境の整備
- VI. 教職員の協働の視点に立つ経営の推進

H25年度中央小学校教育の重点施策

学校教育目標

中央小学校の児童としての自覚と誇りを持ち、豊かな心で社会の変化に主体的に対応できるたくましい児童の育成を図る。



＝目指す学校像＝

【子どもたちにとって】 → 『この学校で学んでよかった』

① ネットワークで～「広がる学校」

【保護者にとって】 → 『この学校に通わせてよかった』

② フットワークで～「開かれる学校」

【教職員にとって】 → 『この学校で働けてよかった』

③ チームワークで～「伸びる学校」

安心安全な学校

危機管理システムの活用

・連絡網

意識の高揚と関係団体との連携

・交通安全協議会、警察

社会福祉協議会、民生委員会、

中央小学校の週課表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	備 考
月	5	5	5	5	5	5	職員会議・研修日
火	5	6	6	6	6	6	
水	5	5	6	6	6	6	クラブ・部会・委員会
木	5	5	5	5	5	5	振興会
金	5	5	5	6	6	6	
合計	25	26	27	28	28	28	

中央小学校の日課表

	A日課 (清掃有り)	B日課 (清掃なし)	
児 童 登 校	8:10 ~ (職員打ち合わせ)	給食終了までは 通常日課と同じ	
中 央 小 タイム	8:15 ~ 8:25		
朝 の 会	8:25 ~ 8:30		
1 校 時	8:30 ~ 9:15		
休 み 時 間	9:15 ~ 9:20		
2 校 時	9:20 ~ 10:05		
2 の 休 み	10:05 ~ 10:25		
3 校 時	10:25 ~ 11:10		
休 み 時 間	11:10 ~ 11:15		
4 校 時	11:15 ~ 12:00		
給 食	12:00 ~ 12:45		
清 掃	12:45 ~ 13:00		
昼 休 み	13:00 ~ 13:15		12:45 ~ 13:00
5 校 時	13:15 ~ 14:00		13:00 ~ 13:45
帰 り の 会	14:10 ~ 14:25	13:45 ~ 13:55	
休 み 時 間	14:00 ~ 14:05	13:45 ~ 13:50	
6 校 時	14:05 ~ 14:50	13:50 ~ 14:35	
帰 り の 会	14:50 ~ 15:00	14:35 ~ 14:45	
児 童 下 校	~ 15:30	~ 15:30	

※ 中央小タイムは、朝自習（基礎基本の定着～木・金）朝読書（月～水）の時間として実施している。

教 職 員 構 成		
担 当	職員の氏名	校務分掌
校 長	上野 喜孝	
教 頭	米本 智	
1年1組担任	松山 清美	研 修 1
2年1組担任	場崎 由美	体 育
3年1組担任	岩田 考	放 送
4年1組担任	片桐 希	生活指導
5年1組担任	岩田 玲子	給食指導・収入
6年1組担任	平川 隆二	教 務
ポプラ(知的)担任	坂下 敏之	児 童 会
ポプラ(情緒)担任	桑原 宏子	学 習
3~6年理科5.6年家庭	高橋 宏之	研 修 2
1~3年算数T.T(期限付)	吉田 美紗	図 書
特別支援教育 支援員	宮本 千裕	
養護教諭	西田 知子	保健衛生
事務職員	銭谷 洋悦	備品・学籍・庶務
栄養教諭	小笠原友理	給食献立・支出
事務補	高木 洋子	経理事務・図書
公務補(臨時)	長谷部 進	管理保全
公務補(臨時)	佐藤 義之	管理保全
調理職員	藤原 明美	給食調理
調理職員(臨時)	鎌田 恵	給食調理
調理職員(臨時)	金打 美和	給食調理
調理職員(臨時)	高橋 恵	給食調理
日直警備員(臨時)	下田 勝弘	日直警備
日直警備員(臨時)	豊田 和明	日直警備
(育休中)	尾崎 真紀	

主 な 行 事 予 定	
4月5日	着任式・第1学期始業式・入学式
4月11日	学力テスト
4月13日	参観日 P T A総会
4月17日	家庭訪問開始(～24日)
4月24日	全国学力・学習状況調査
4月25日	前期児童総会
5月2日	1年生を迎える会
5月10日	春の遠足
5月29日	運動会総練習
6月1日	なかよし大運動会
6月5日	避難訓練
6月6日	全学年参観日
6月11日	4年生見学旅行
6月13日	1年生見学旅行
6月19日	6年生修学旅行(～20日)
6月25日	開校記念日
6月27日	2年生見学旅行
6月28日	3年生見学旅行
7月2日	参観・懇談会(低)
7月4日	参観・懇談会(高)
7月9日	5年生宿泊学習(～10日)
7月25日	第1学期終業式
8月20日	第2学期始業式
9月12日	避難訓練
10月2日	学芸会児童公開日
10月6日	学芸会地域公開日
10月21日	児童作品展(～25日)
10月23日	成寿苑慰問
10月24日	全学年参観日(町民参観日)
10月31日	後期児童総会
11月27日	中央小フェスティバル
12月2日	参観・懇談会(高)
12月3日	参観・懇談会(低)
12月25日	2学期終業式
1月20日	3学期始業式
1月23日	卒業生を描く会
2月6日	新1年生一日入学
2月19日	6年生を送る会
2月28日	参観・懇談会(6年)
3月3日	参観・懇談会(4・5年)
3月4日	参観・懇談会(低)
3月19日	卒業証書授与式
3月24日	修了式 離任式

学 級 編 制									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	知的	情緒	合 計
男子	8	6	13	12	7(1)	13(1)	2		61
女子	5	15	10	10	13(1)	9		1	63
合計	13	21	23	22	20(2)	22(1)	2	1	124

中央小学校の研究

学校教育目標

思いやりのある子
(情) ～優しく～

正しいことをやり抜く子(意)～正しく～

自ら進んで学ぶ子
(知) ～賢く～

健康でたくましい
子(体) ～強く～

研究主題

『基礎・基本の定着を図る学習指導』（2年次）
～算数がわかる・できる・おもしろい～

求める子ども像

意欲的・主体的に計算問題にとりくむ子

基礎基本を身につけ、それを活かして学ぶ子ども
算数のよさや学ぶ喜びを感じ、意欲的に学ぶ子ども

研究の仮説

- 【 仮説1 】 基礎基本となる計算力を高めることによって、自ら考え解決する「学ぶ力」を育てることができる。
- 【 仮説2 】 関心を高める問題、効果的な教材・教具、操作活動等を工夫し、「わかった」「できた」喜びを多く体験させることによって、意欲的に解決しようとする子どもをいう育成することができる。

研究の内容

1. 仮説に基づいた指導方法の研究
2. 指導方法の実践と検証
公開授業研（実践交流・指導交流）
3. 年次反省と次年度への課題

※ どの教科においても、基礎的な学習内容の理解・定着が不十分であり、それが次学年の学習をさらに困難にしている。本町の実態、児童の実態に合わせた指導方法の工夫改善を目指す。

中央小学校教育活動の特色

TT指導を生かした算数科授業の充実

一人一人の児童に基礎・基本の力を身に付けさせるため、高学年の算数科においてT・Tを取り入れた学習活動を行っています。特に学習に困っている子へのサポート体制の充実を目指しています。

学習の進め方は、主に学級の担任が授業進行(メイン)を担い、T・T担当者が、学習に時間を要する子を中心に指導を加えていく(サブ)形式をとっています。また、必要に応じて習熟度別グループ編成(2グループ)を行い、子どもの実態に合わせた指導を行っています。

理解が遅い子の学力向上策としてTT指導を主な施策としています。



ALTと協力した英語教育

新教育課程で5・6年生には、年間35時間の外国語活動が本格実施となりました。本校では、1～4年生に対しても、年間6時間程度の外国語活動を実施しています。

現在のALTの方は、ピーター・マイケル・レノックスさんです。毎週水曜日に学校にきていただき、5・6年生の授業のお手伝いをして頂いています。授業以外にも様々な場面で子どもたちに関わってもらっています。「コミュニケーション能力の向上」「自己の確立」を目指し、「生きる力」を育む小学校外国語活動を推進して行きたいと考えています。



地域と連携した教育

主に、総合的な学習やクラブの時間などを通して、地域素材・地域人材の積極的な活用をした学習を進めています。また、地域の方々とはふれあい交流する活動も進めています。

社会教育とも連携し以下のような内容のものにとりこんでいます。

- 絵本読み聞かせ
- パークゴルフ
- 成寿苑慰問
- 陶芸教室
- 親子お料理教室
- お菓子作り教室
- ピーター先生のグッドイングリッシュ
- 中央小フェスティバル
- 放課後子ども教室(学習・スポーツ)
- 学校支援本部事業との連携



巡回指導教員を活用した高学年教育の充実

児童の学力の向上を目指して、巡回指導教員活用事業が始まりました。昨年度に引き続いて、上砂川町の小学校、中学校でこの制度を活用できることになり、本校では、主に高学年(4～6年)の算数の学習を中心に、学習に手助けが必要な子のサポートを行っています。

基礎学力の定着はもとより、学習訓練、生活指導の面でも成果が期待されています。

現在、大館 浩行 先生がその任を負っており、毎週月・水・金曜日に来校し、子ども達の指導にあたっております。



中央小学校の生徒指導

基本的な生活習慣の徹底のために

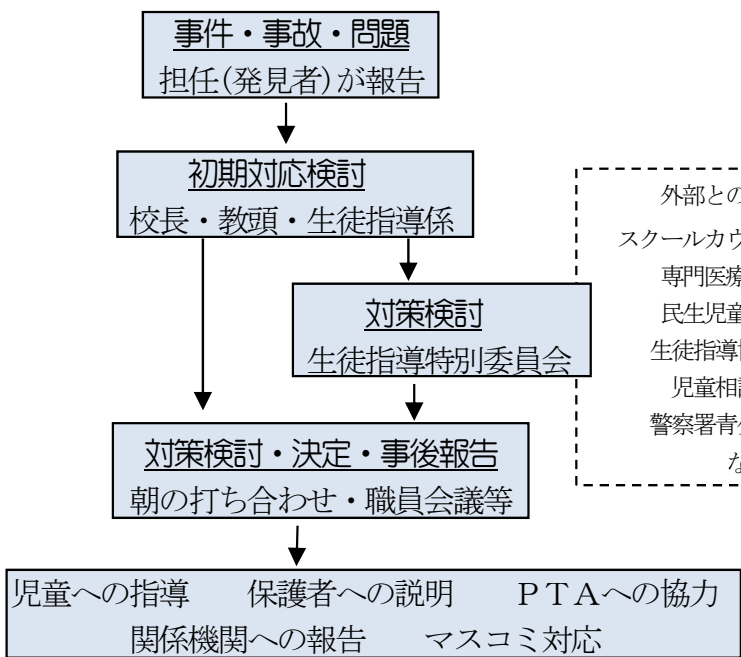
「校内外生活のきまり」「保健指導目標」「給食目標」の設定。
 いろいろな面から、基本的な生活習慣をしっかり子どもたちに身につけていくため、各学級で内容を具現化し、指導計画に基づきながら実践を進めています。

校内生活重点指導	校内生活の基本の定着
	校舎施設の正しい使い方
	時刻を守る
	忘れ物をしない
	元気にあいさつ

※毎週金曜日、職員朝会で、学級内での困りごとや指導に缶汁連絡や問題点、全校的に共通理解が必要な児童について話し合うようにしています。

中央小学校 保健指導目標	
4月	健康診断を受けよう。
5月	きれいな体にしよう。
6月	歯を大切にしよう。
7月	夏を健康に過ごそう。
8月	夏を健康に過ごそう。
9月	運動と休養について考えよう。
10月	目を大切にしよう。
11月	かぜを予防しよう。
12月	冬を元気に過ごそう。
1月	冬を元気に過ごそう
2月	栄養と健康について考えよう。
3月	健康生活の反省をしよう。

中央小学校の危機管理体制

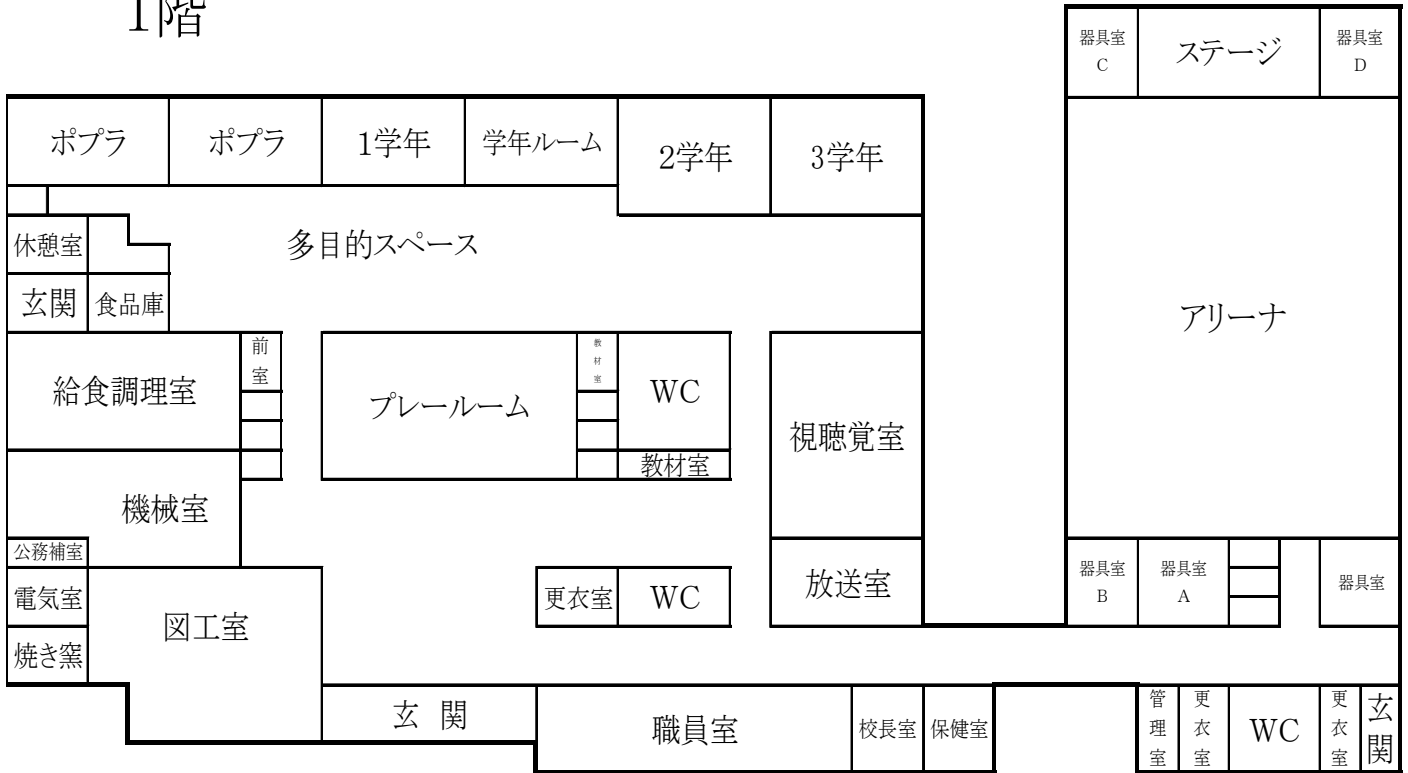


安全対策として

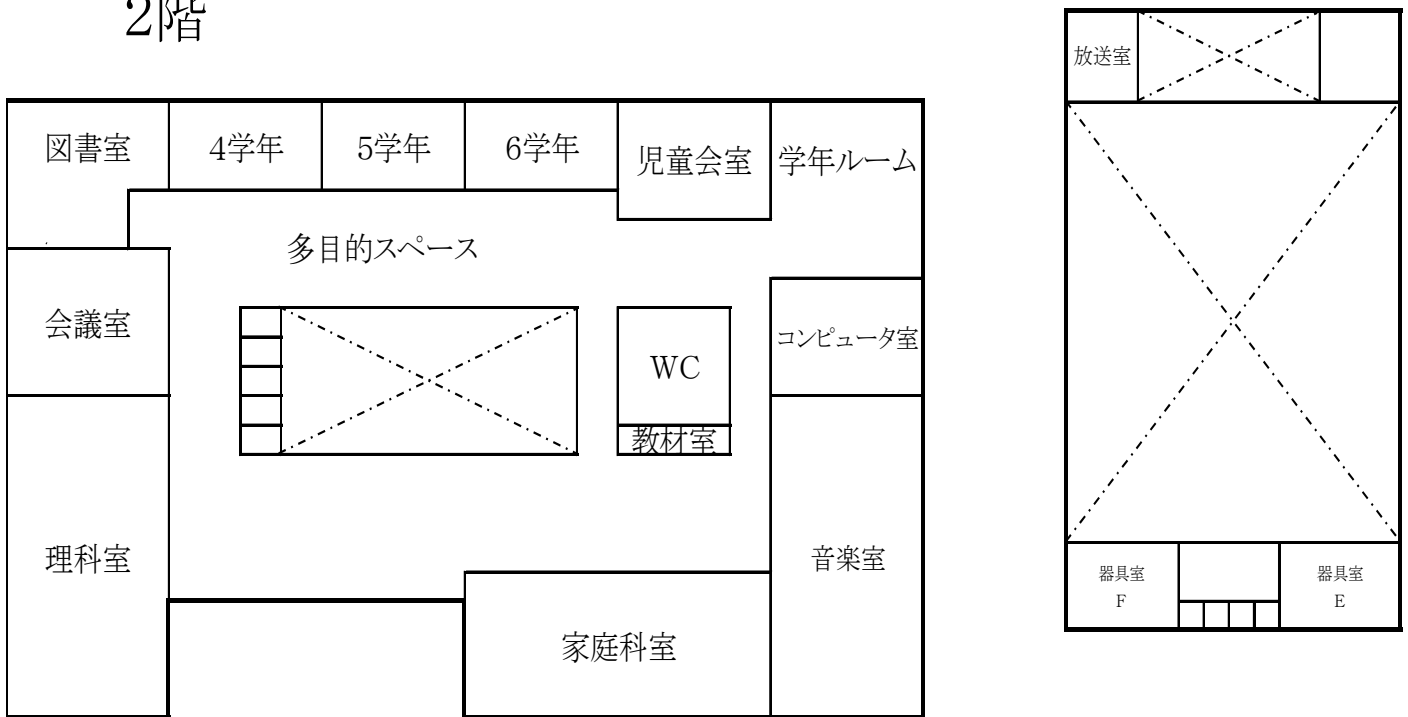
- ①各種きまりの設定
- ②安全点検日の設定
- ③安全指導
 - 交通安全指導
 - 防災訓練
 - (避難訓練、集団下校訓練)
 - 校内安全のきまり
 - 不審者侵入訓練 等
- ④インターホンの設置・活用
- ⑤町生徒指導連絡協議会との連携
- ⑥交通安全協会との連携

中央小学校校舎平面図

1階



2階



平成25年度